

# 西

## ～にし～

Good News 特集号

### ■山崎高等学校「避難訓練～ハザードマップ・避難経路を確認しよう！～の実施」

ここ数年の豪雨では、短時間局地的に襲う“ゲリラ豪雨”だけでなく、継続的に膨大な雨量をもたらし、大災害を引き起こすものも目立つようになりました。想定を超える雨量によって、広範囲にわたり浸水被害や土砂災害が発生するリスクが高まっている昨今、日ごろからの災害への備えがますます重要になっています。

9月2日（水）、本校は全学年を対象に避難訓練を実施しました。大地震の発生を想定し、机の下に潜り込み、机の脚を対角線にしっかりと掴んで、実際に地震が発生したときの対応を再確認しました（写真1）。例年は、その後各クラスごとに避難経路を進んでいくのですが、今回は3密を避けるため、避難経路の確認を各教室で行いました。そして、東京都総務局総合防災部防災計画課発行の『東京マイ・タイムライン』の「ハザードマップを確認する」を活用した演習を行いました。

演習では、まず、ハザードマップとは何なのか、ハザードマップはどのようにして入手できるのかなどを確認しました。その後、生徒たちは実際に、自宅のある地域の洪水ハザードマップで一番近い避難場所を調べ（写真2）、それぞれアンケート用紙にまとめました（写真3）。ほとんどの生徒は、自宅のある地域のハザードマップを見たことがなく、「大丈夫そうで良かった」と安心する生徒や「思っていたよりも被害想定が大きかった」と驚く生徒など、様々な反応をしていました。

避難場所については、「私の家から避難場所までこんなに近いんだよ」、「こうやっていくと近道なんだよ」と、自宅から一番近い避難場所までの行き方を説明できる生徒が多くいました。避難場所を把握していなかった生徒は、地図をしっかりと確認してから、経路をアンケート用紙に記入していました。既に説明できる生徒も、改めて地図を見直し、避難場所に行くまでに被災する可能性のあるエリアを避ける経路を確認していました。

最後に、自分たちの家族の状況や長期間避難する際に持ち出すべき物、それを準備するためにかかる時間などを確認し、訓練を終えました。

今回の避難訓練は例年と異なる形での実施でしたが、生徒が改めて災害や避難に向き合うきっかけとなり、有意義な訓練となりました。

（教諭・大久保 萌）



写真1：机に潜っている様子



写真2：ハザードマップを調べている様子



写真3：アンケート用紙記入の様子



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980 ファクシミリ（042）527-6468